

今回は「自分の好きなこと」と「地域に良いこと」を組み合わせる「共創の地域づくりアイデアづくり」がテーマです。
 参加者は、自分が好きなことや大切にしていることと、地域にとって良いことを付箋に書き出し、その後、たくさん並んだ付箋を組み合わせて、自分がワクワクする地域づくりのアイデアを話し合いながら創りました。



机には付箋がたくさん

第3回共創デザインスタジオ
 ヒトカラ~hitocolor~イイナン

12/13日



1人ずつアイデアを発表しました

参加者からは「アイデアを出すのは大変だと思っていたけど、みんなで考えるとワクワクする」などの声がありました。
 今回のアイデアは、次回でさらに磨き上げられ、最終的に町内外の人に向けて発表します。

●ヒトカラココカラ会議(発表会)

日時 令和3年2月7日(日)

13時~17時(予定)

場所 中山間地域研究センター

■問合せ

総務課 電話762211

1/1祝
 金・祝
 丑年の走り初め
 元日マラソン
 毎年恒例の元旦マラソン(公民館主催)が、志々、頓原両地区で開催されました。
 年末からの大雪予報で開催が心配された今回、飯南町の元旦らしい雪景色の中、志々地区には32人、頓原地区には50人が集まりました。
 参加者は「今年が良い年になりましよう」と願い、真っ白な雪道を顔や指先を赤くしながら元気に走り抜けていきました。



スタート前にお参りと写真撮影(志々)



ラジオ体操後、一斉にスタート(頓原)



ゴール後には表彰式と、福引抽選会で新年最初の運試し(頓原)

全国公民館報コンクール
 「志々公民館」だよりが銀賞

優れた公民館報を表彰する全国公民館報コンクールで、「志々公民館だより」が銀賞を受賞しました。
 志々公民館だよりは、平成5年の開館当初から発行。公民館事業の内容や地域行事を中心に取り上げています。
 伊藤館長は「住民と公民館をつなぐ架け橋になることを目的に毎月発行してきました。今回の受賞は、住民の皆さんと共に力を出し合い編集を続けてきた証で、大変嬉しく思います」と話していました。



今回応募した公民館だより



誌面には志々地区の皆さんがたくさん登場



「志々地区の皆さんに感謝しています」

賀田城

「御城印」の販売開始

加田の湯で11月28日(土)から「御城印」の販売が始まりました。価格は1枚300円(税込み)。
 烏田家の家紋「丸に偶立て四ツ目」に、槍を持った少年のシルエットが特徴の御城印は、来島公民館と加田の湯、第27代烏田家当主の烏田勝信さん(上米島)、飯南町観光協会により制作されました。飯南町では、赤穴瀬戸山城に続き2つ目。
 近頃の城郭ブームで人気を集める御城印は、全国400城以上で制作されています。



槍を持った少年は第25代当主烏田定利(当時12歳)

ようかいだいら
 通称「要善平」から琴引山を望む



昨年春には「賀田城ウォーキング」を開催